

札幌学院大学 総合体育施設



所在地：北海道江別市文京台11番地
 建築面積：1,630㎡（総合体育館）+1,230㎡（室内練習場）
 構造・規模：鉄筋コンクリート造2階建
 設計：(株)北海道日建設計
 施工：建築・設備／（総合体育館）(株)大林組
 （室内練習場）三井住友建設(株)
 完成：平成18年3月

体育授業の充実や課外活動のさらなる活性化を図るため、総合体育館を新設。
 メインアリーナの照明は、高効率・高演色のメタルハライドランプ高天井用反射笠器具を分散方式で配置し、
 練習から公式競技までのレベルに対応した照明環境を確保しています。

メインアリーナとサブアリーナ、トレーニングルームで構成した大学の総合体育館

昨年（平成18年）、創立60周年を迎えた札幌学院大学は、現在5学部8学科、3大学院を擁する文系総合大学です。クラブ・スポーツ活動の拠点となる第2キャンパスは、陸上競技場や野球場をはじめ、多目的グラウンド、テニス場、アーチェリー場を備え、屋内施設として弓道場、体育センターがあり、昨年3月には新たに総合体育館と室内練習場が完成しました。総合体育館は、明るく開放的なメインアリーナとハードなスポーツに対応可能なサブアリーナ、最新の機器を備えたトレーニングルームなどで構成されています。

練習から公式競技まで、幅広く利用できる施設に対応した的確な照度レベルを確保

メインアリーナはバスケットコート2面、バドミントン8面、ハンドボール1面、それに公式バレーボールコートがとれる広さと高さが確保され、コート両端には試合等の観覧可能な待機スペースを、また2階部分にはアリーナを取り囲む全長164mのランニングロードを配しています。照明は、こうした用途・構造における最適な光環境を創出するため、高効率・高演色の1kWメタルハライドランプ高天井用反射笠器具（電動昇降装置付）を8列構成の建築化天井スリットに均等に分散配置。空間照度を高めつつ、各競技レベルに応じた点灯パターンを作成し、ムダなく的確な明るさを確保しています。平均照度は、全点灯時1200lxが確保され、JIS室内運動場照明基準公式競技（平均照度1000lx以上、均斉度0.5以上）を十分満足しています。

サブアリーナはバスケットコート1面がとれ、室内サッカーに耐え得る丈夫な造りとなっています。照明は、400Wメタルハライドランプと180W高圧ナトリウムランプを組合せた2灯用バンクライト（電動昇降装置付・下面ガード付）を採用し、天井トラスに均等配置。単体の配光とほぼ同性能で違和感のない光色の混光照明により、優れた省エネ性を発揮しながら競技レベルに対応した最適な明るさを確保しています。

室内練習場は、人工芝貼りの全天候型施設で、悪天候、冬季期間の練習環境をサポートしています。照明は400Wメタルハライドランプ高天井用反射笠器具を防球ネット上部の床上7m高さに均等配置。影もなく、眩しさも少ない、スピードボールの見やすい光環境が得られています。



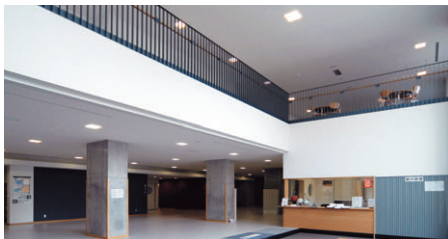
メインアリーナの照明：1kWメタルハライドランプ高天井用反射笠器具を建築化天井スリットのラインに沿って均等に分散設置



サブアリーナの照明：2灯用バンクライト（混光）を均等配置し、違和感のない光色で快適感を確保しつつ、省エネを実現



1灯用バンクライトを設置したトレーニングルームの照明



エントランスホールの照明：昼白色の蛍光灯ダウンライトで活動的な光環境を創出



室内練習場の照明：400Wメタルハライドランプ高天井用反射笠器具（広照形）を防球ネット上部に均等配置

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
総合体育館	高天井用反射笠器具 （電動昇降装置付）	SN-10044A	40	1kWメタルハライドランプ
		SN-10044A-SLG+YV39S-PB（改）	40	
	2灯用バンクライト （電動昇降装置付）	HBL-4203GN	16	400Wメタルハライドランプ +180W高圧ナトリウムランプ
		HBL-4203（改）	8	
	1灯用バンクライト	HBL-40107	10	400Wメタルハライドランプ
	埋込器具（カバー付）	FHR-34326K-PR	33	32Wコンパクト形蛍光ランプ
室内練習場	ダウンライト	FHD-31003-PM	49	24Wコンパクト形蛍光ランプ
		高天井用反射笠器具	SN-10044A	24